

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果 ～安平町の児童・生徒の概況～

1 調査目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査実施時期 令和7年4月～7月

3 調査対象(実施総数)

(1) 小学校・義務教育学校(前期課程)

調査対象	安平町	北海道(公立)	全国(公立)
第5学年児童数	47	21,866	980,009

(2) 中学校・義務教育学校(後期課程)

調査対象	安平町	北海道(公立)	全国(公立)
第2学年生徒数	44	23,605	907,311

4 調査内容

(1) 実技に関する調査

- ・ ①握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横とび
- ⑤(小)20mシャトルラン (中)持久走 または 20mシャトルラン
- ⑥50m走 ⑦立ち幅とび ⑧(小)ソフトボール投げ (中)ハンドボール投げ

(2) 運動習慣や生活習慣等に関する質問調査

5 内容構成

(1) 実技に関する調査の状況

- ・ 種目T得点、体力合計点
- ・ レーダーチャート
- ・ 体力合計点の推移、総合評価の割合

(2) 質問調査の状況

- ・ 調査結果の分析
- ・ 体力向上に向けた改善方策

安平町教育委員会
令和8年1月

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 安平町内の小学校の状況及び今後の体力向上策

学校数:2校 児童数:47名

○ 実技に関する調査の状況

※T得点：単位が異なる各種目（秒・cm・回など）を、全国平均（50点）と比較しやすくした数値です。

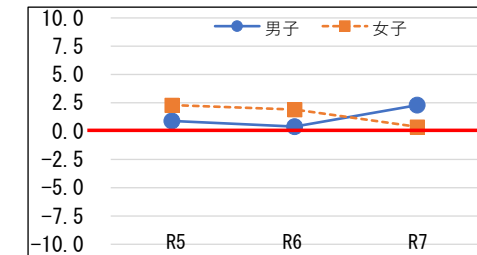
<各種目のT得点及び体力合計点>

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7安平町男子	50.7	48.2	56.2	50.6	55.0	48.0	54.9	51.7	52.3
R7安平町女子	52.1	48.9	48.1	53.2	48.1	45.7	51.3	46.8	50.4
R7北海道（公立）男子	52.1	49.8	50.5	51.9	49.6	48.1	50.4	50.9	50.6
R7北海道（公立）女子	51.8	49.6	50.6	52.0	49.6	48.2	50.8	51.9	50.7
R7全国（公立）男子	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
R7全国（公立）女子	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0

<体力合計点>

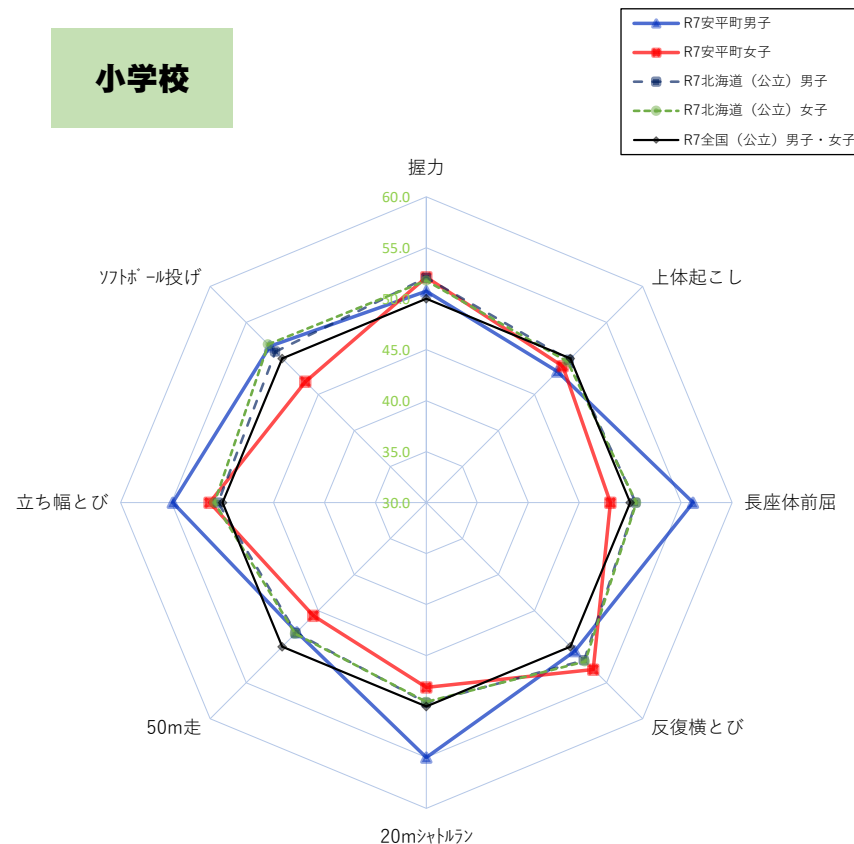
小学校	男子	女子
安平町	52.3	50.4
全国	50.0	50.0
差	ほぼ等しい	ほぼ等しい

<体力合計点の全国との差の推移>

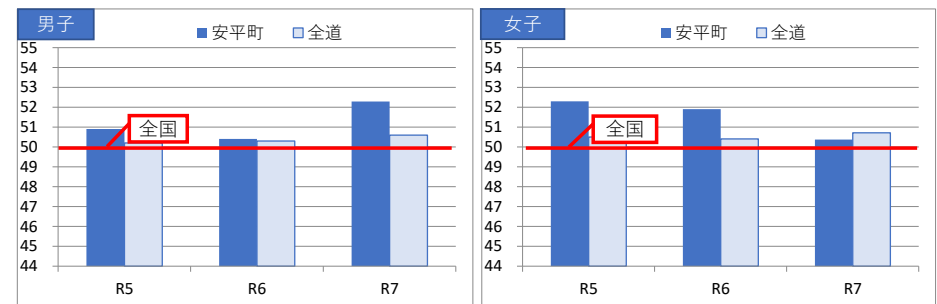


<各種目のT得点の全道及び安平町の状況>

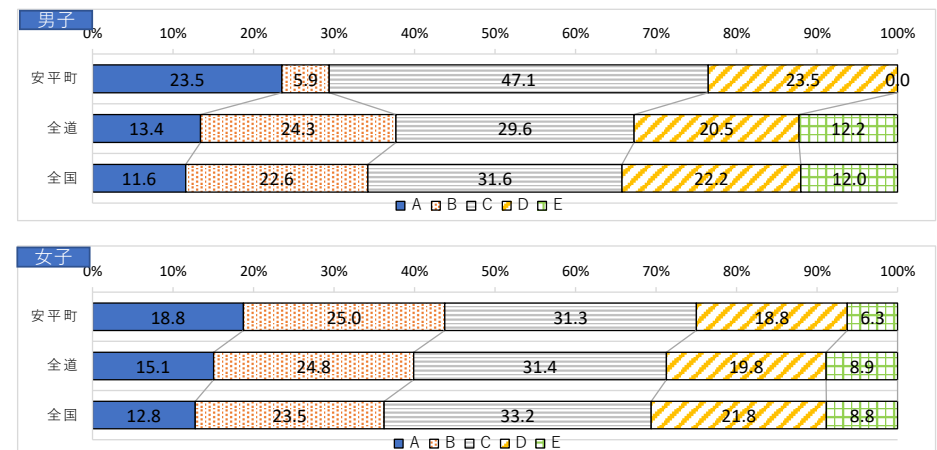
小学校



<体力合計点の男女別の推移>



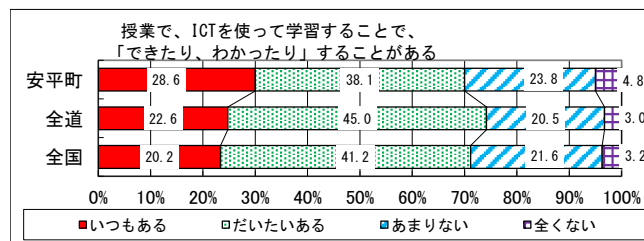
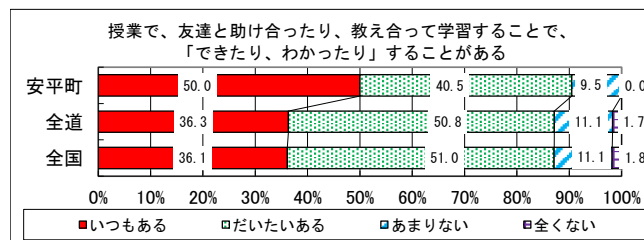
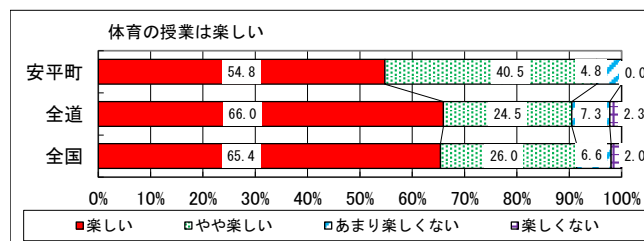
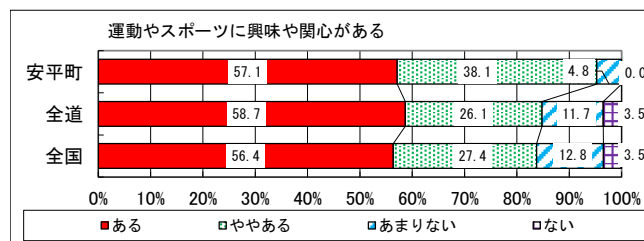
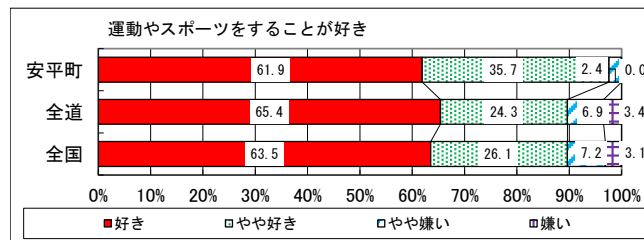
<体力合計点の総合評価の割合>



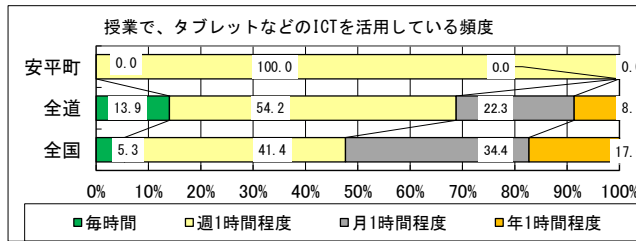
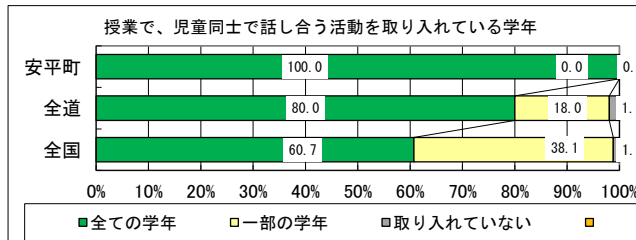
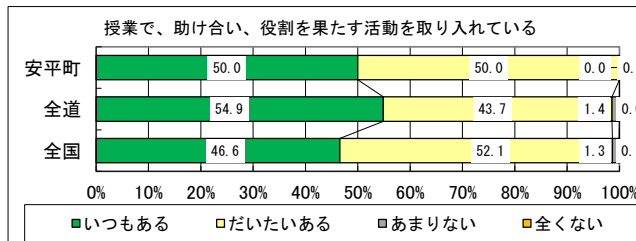
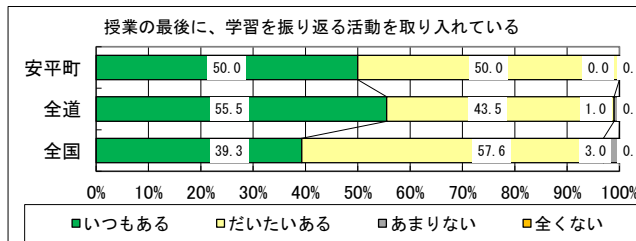
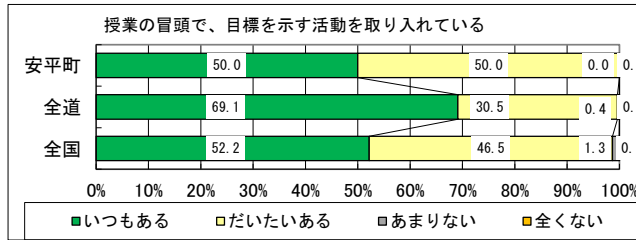
○ 質問調査（児童質問調査・学校質問調査）の状況

【児童質問調査】

※安平町の集計値は、男子と女子の人数比を考慮した平均値（加重平均）を用いています。



【学校質問調査】



■ 調査結果の分析

【成果】

- ・男子は、長座体前屈（T得点56.2）、20mシャトルラン（T得点55.0）、立ち幅とび（T得点54.9）において、全国・全道の平均を上回っている。また、総合的な体力合計点（T得点52.3）でも全国・全道の平均を上回っている。
- ・女子は、握力（T得点52.1）、反復横とび（T得点53.2）、立ち幅とび（T得点51.3）において全国・全道の平均を上回っている。
- ・運動が好きと肯定的に回答した男子児童の割合（100%）が高く、運動への高い意欲が実技結果に寄与している。

【課題】

- ・男子は、上体起こし（T得点48.2）、50m走（T得点48.0）において、全国・全道をやや下回っている。
- ・女子は、50m走（T得点45.7）、ソフトボール投げ（T得点46.8）において、全国・全道を下回っている。
- ・男子は、運動に対する意欲は高い傾向にあるが、1週間の総運動時間において420分未満の児童が約4割を占める。
- ・女子は、1週間の総運動時間が420分未満の児童が約7割を占めており、日常的な運動機会の確保が課題である。

■ 体力向上に向けた改善方策

【授業改善】

- ・全校で実施済みの「目標提示」および「振り返り活動」を質的に向上させる。
- ・自分の記録と全国・全道の平均を比較できる個人カード等を活用するなど、具体的な個人目標を設定させる。
- ・授業の最後に目標に対する達成度について自己評価を行うなど、次回の課題を明確にさせる。

【ICT活用】

- ・週1回程度実施している体育授業でのICT活用を、具体的な技能の向上へ結びつける。
- ・「手本となる動き」と「自分の動き」を動画で比較するなど、体の使い方のコツを客観的に把握させる。

【環境整備・地域連携】

- ・1週間の総運動時間が420分未満の児童に対し、地域の運動・スポーツ団体との連携を拡大し、放課後等の運動機会を確保する。
- ・家庭に対して「生活習慣改善」や「家庭でできる運動」の情報提供を行い、学校・家庭・地域が一体となり、子供が日常的に運動に親しむための土壌を整える。

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 安平町内の中学校の状況及び今後の体力向上策

学校数:2校 生徒数:44名

○ 実技に関する調査の状況

※T得点：単位が異なる各種目（秒・cm・回など）を、全国平均（50点）と比較しやすくした数値です。

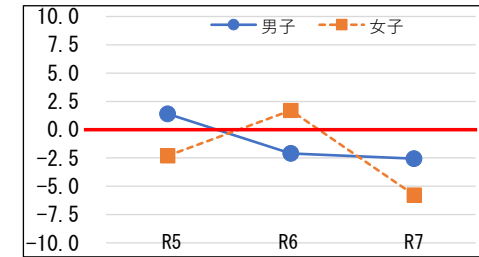
<各種目のT得点及び体力合計点>

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7安平町男子	50.7	46.7	48.1	51.5	51.1	47.8	44.0	50.3	48.5	47.4
R7安平町女子	51.2	47.0	44.7	51.1	48.3	44.6	42.3	44.9	43.0	44.2
R7北海道（公立）男子	50.9	49.2	48.6	48.6	47.0	48.6	48.1	49.5	49.7	49.0
R7北海道（公立）女子	50.0	48.6	48.7	48.3	46.6	48.1	47.9	48.7	49.8	48.3
R7全国（公立）男子	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
R7全国（公立）女子	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0

<体力合計点>

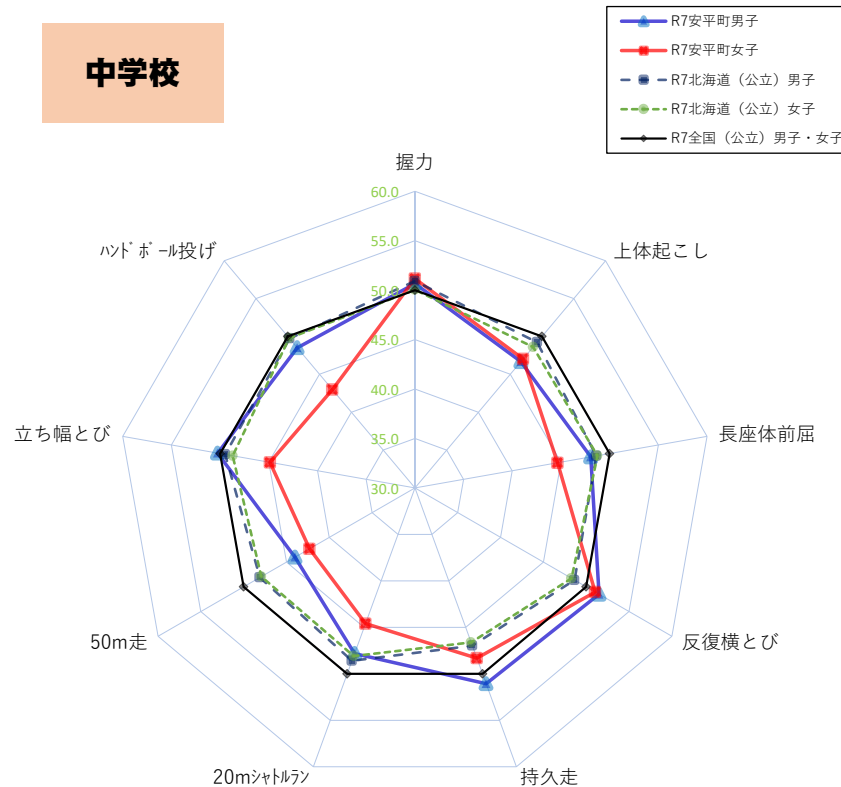
中学校	男子	女子
安平町	47.4	44.2
全国	50.0	50.0
差	やや小さい	少し小さい

<体力合計点の全国との差の推移>

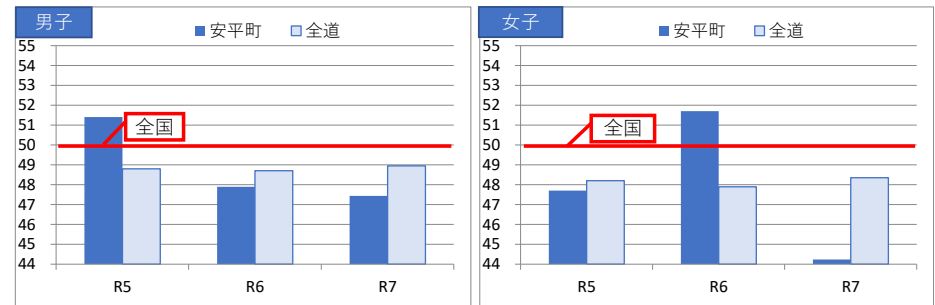


<各種目のT得点の全道及び安平町の状況>

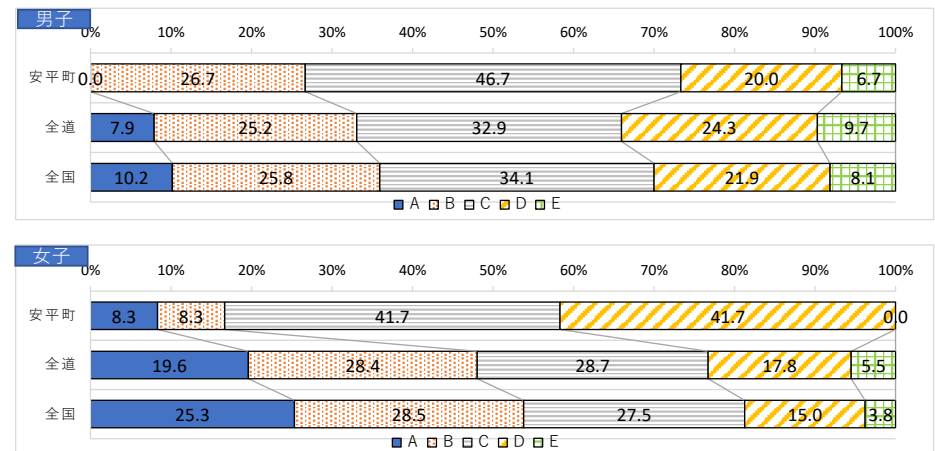
中学校



<体力合計点の男女別の推移>



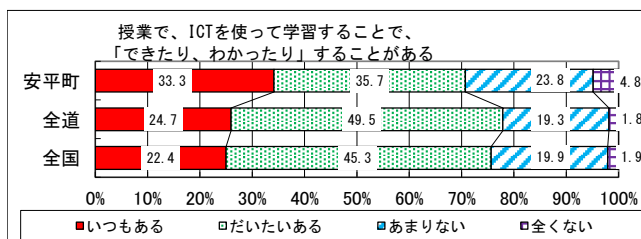
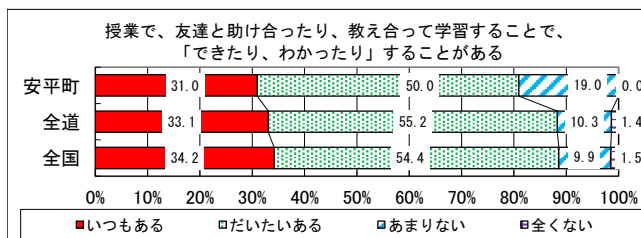
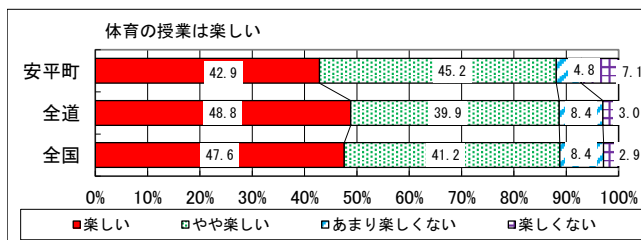
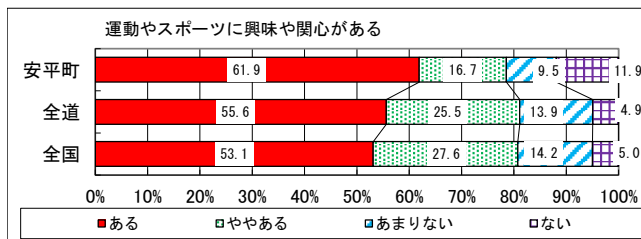
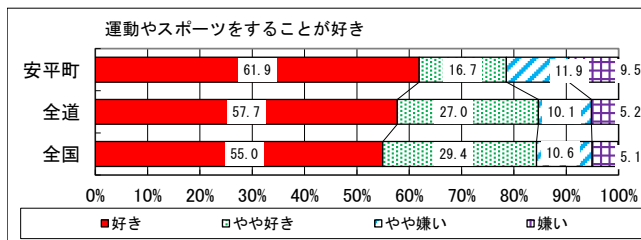
<体力合計点の総合評価の割合>



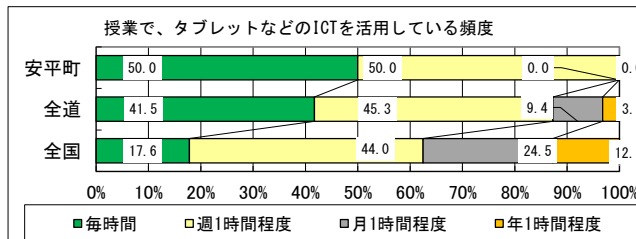
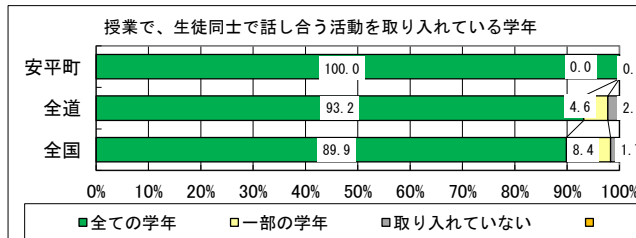
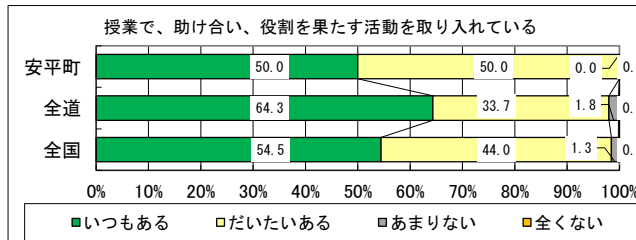
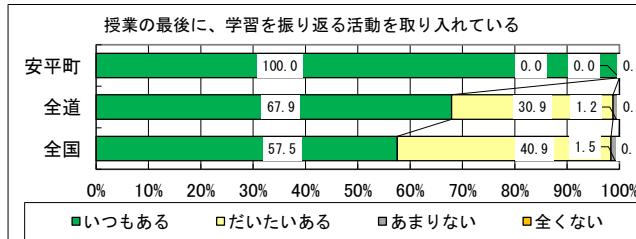
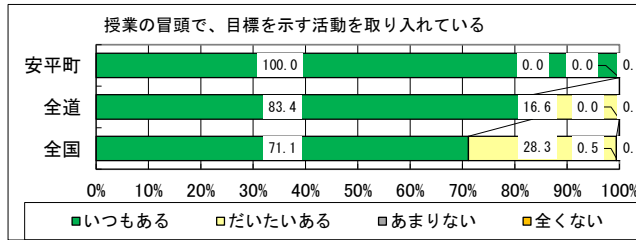
○ 質問調査（生徒質問調査・学校質問調査）の状況

【生徒質問調査】

※安平町の集計値は、男子と女子の人数比を考慮した平均値（加重平均）を用いています。



【学校質問調査】



■ 調査結果の分析

【成果】

- ・男子は、反復横とび（T得点51.5）、持久走（T得点51.1）において、全国・全道の平均を上回っている。
- ・女子は、握力（T得点51.2）、反復横とび（T得点51.1）において、全国・全道の平均を上回っている。
- ・運動が好きと肯定的に回答した男子生徒の割合（91.7%）が高く、運動への高い意欲が実技結果に寄与している。

【課題】

- ・男女共に、50m走（T得点男子44.0・女子42.3）において全国・全道の平均を大きく下回っている。
- ・男女共に、体力合計点（T得点男子47.4・女子44.2）において、全国・全道の平均を下回っている。
- ・男子は、運動への意欲は高い傾向にあるが、約2割の生徒が自分なりの体力向上の目標が明確になっていない。
- ・女子は、1週間の総運動時間において420分未満の生徒が約7割、60分未満の生徒が約4割を占めており、日常的な運動機会の確保が課題である。

■ 体力向上に向けた改善方策

【授業改善】

- ・既に定着している「目標提示」と「振り返り」の上に、生徒同士の「助け合い・教え合う活動」を充実させる。
- ・課題が見られる50m走等の種目において、生徒同士でアドバイスし合う活動を通じて実技向上を図る。
- ・運動に意欲的に取り組めるよう、個々の能力に応じた段階的な課題設定を行う。

【ICT活用】

- ・体育授業でのICT活用を継続し、生徒の学習データの蓄積と分析を行う。
- ・「以前の動き」と「現在の動き」を比較し、自身の成長を実感することで、運動への自信と意欲を高める。
- ・球技等の授業でゲームの様子を撮影し、チームでの作戦立案や課題解決の参考として活用する。

【環境整備・地域連携】

- ・1週間の総運動時間が60分未満の生徒の割合の減少に向け、地域の運動イベント・スポーツ団体の情報提供などを積極的に行う。
- ・家庭と連携し、「健康三原則（運動・食事・睡眠）」の大切さを伝え、生涯にわたる健康管理能力を育成する。